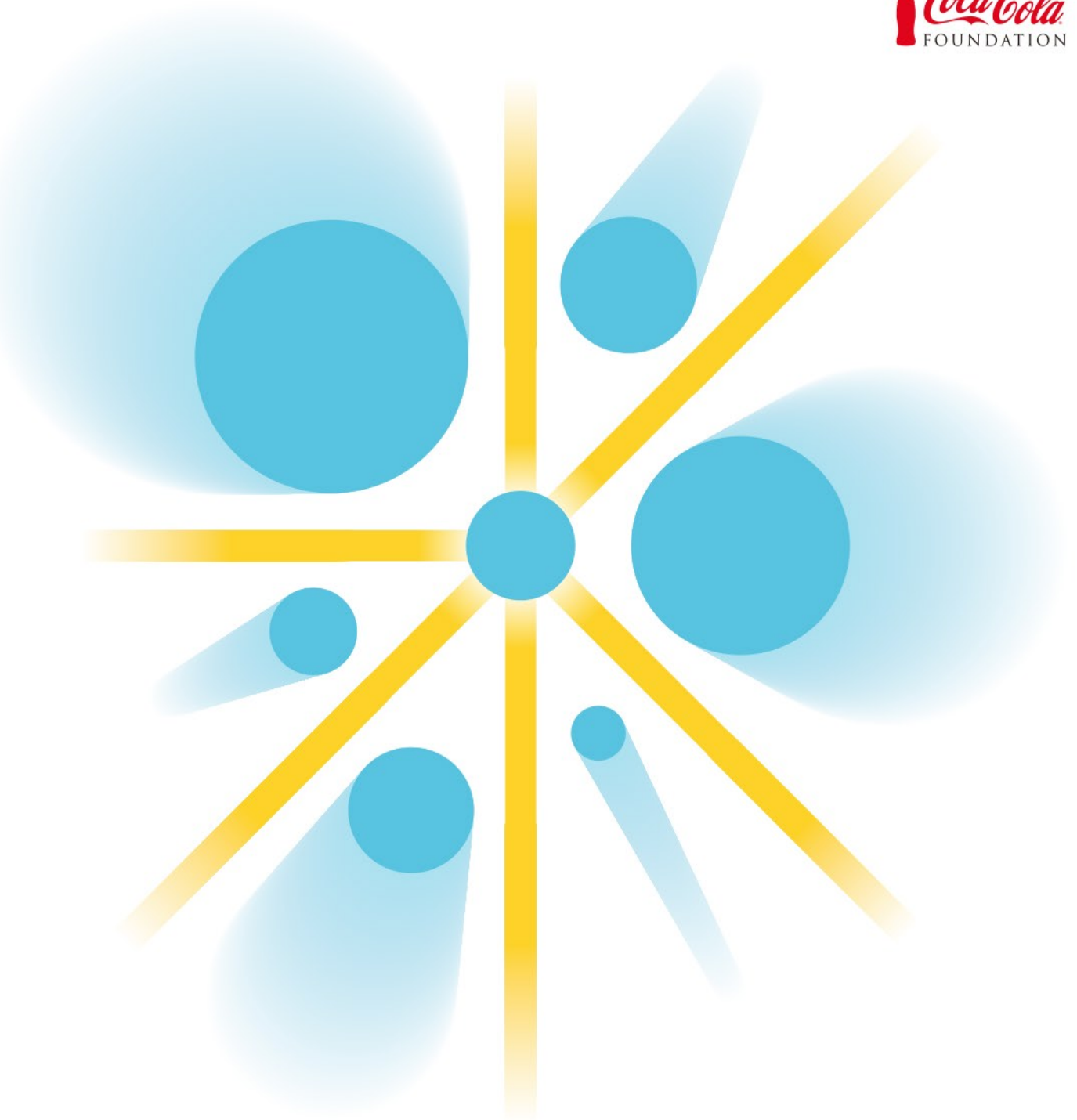


水辺の学びをデザインするプロジェクト「第3期」はじまります



「水辺の学びデザインプロジェクト」WaSIT 第3期メンバーを募集します。

●みなさんには水辺の思い出がありますか？ ●水遊びや釣り、バーベキューや花火、散歩やデート、いくつかの場面が思い浮かぶのではないのでしょうか。●水辺の自然とのふれあいは人々の感性を刺激し、発見や学びを与え、また、その場が作り出す音や風景は私たちに癒やしをもたらします。●飲み水はもちろん、日々の暮らしのあらゆる場面で私たちは水の恩恵を受けています。●このプロジェクトでは、水辺をテーマにしたスペシャル・インタレスト・ツアー(SIT)に出かけます。●大学生の視点で企画したオリジナルの水辺ツアーに出かけ、見つけた場所やコースがもっている学びの可能性を探ります。●水辺の魅力を広く伝えるためには、水辺の自然や文化をわかりやすく表現することが大切です。●ツアーを経験した後、マップやショートムービー等の教材をデザインしていきます。●水辺の賑わいの創出や学びの場のデザインに興味のある方、ぜひご応募ください！



WaSIT

Water Special Interest Tours Tokyo Gakugei University
水辺の学びデザインプロジェクト

【対象】 東京学芸大学の学部生・大学院生15名程度

【応募条件】

- 水や水辺に関心のある人
- 積極的・意欲的に活動に参加できる人
- 大学の夏季休暇に行う実習に参加できる人(旅費支給)
- Eメール・電話での連絡が可能な人
- 定期的なミーティング(週1回・お昼休みなど)に参加できる人

【こんな人募集】

- 川や海が好き ● 魚とりが得意 ● 自然観察が好き
- 夏休みはダイビング ● 船で旅をしたい
- おいしい水にこだわりがある ● 水辺の魅力を伝えたい

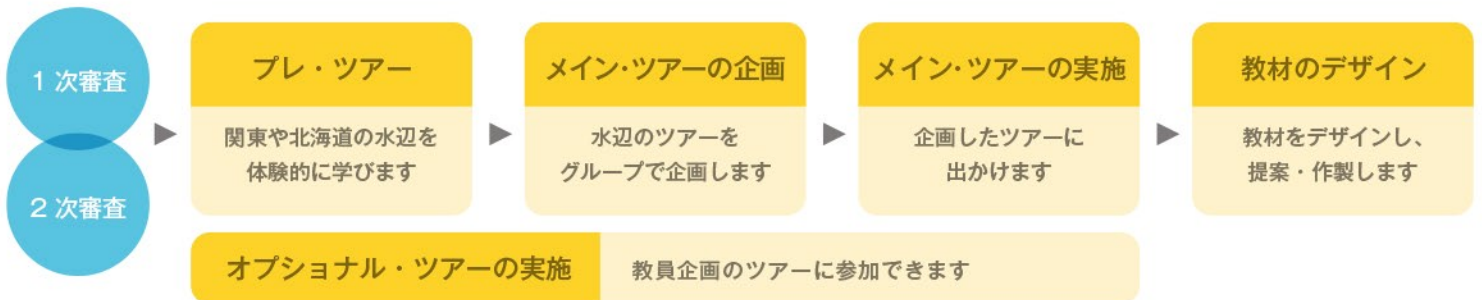
- 水辺を楽しみたい ● エコツーリズムが気になる
- 週末は水族館めぐり ● 魚料理が好き ● ダムマニア
- 新しい教材をデザインしたい ● カメラ好き
- ショートムービーを作りたい などなど (水辺の経験がない人もOKです。)

【参加のメリット】

- 様々なフィールドに出かけ、水辺の自然や文化を学べます
- 関東や北海道でのフィールドツアー(予定)に参加できます(旅費支給)
- チームをつくり、自分たちで水辺ツアーを実施できます(旅費支給)
- 教材づくりのノウハウが身につきます
- 学内の他選修・専攻の学生、先輩・後輩との交流が深まります
- 関連する各分野の先生方から学べます

【活動の流れ】

ツアーなどを通して学んだことをグループごとにディスカッションしながら教材をデザインします



【課題】

- (1) 水や水辺をテーマにした自分が行ってみたいツアーまたはデートコース
- (2) 思い出や想像でつづった水辺のショートストーリー

【応募方法】

上記(1)(2)のいずれかを選んで、A4 2枚程度で作成してください。(文章なら2000字程度。図やイラストを含んでも良い。) 作品は、メール(watersit@u-gakugei.ac.jp)に添付して応募してください。

応募に際しては、件名を「WaSIT2018 メンバー応募」とし、氏名・学年・所属・連絡先(Eメール・電話番号)を明記してください。

【応募受付期間】

平成30年4月23日(月)～5月10日(木)

【選考方法】

- 1次選考(書類審査)
選考結果は、平成30年5月18日までに応募者全員にお知らせします。
- 2次選考(面接審査)
平成30年5月下旬に審査を行います。
審査は、プレゼンテーションを含む個人面接です。

【応募先・問い合わせ先】

環境教育研究センター
水辺の学びデザインプロジェクト WaSIT 事務局
E-Mail: watersit@u-gakugei.ac.jp



Facebook Page

プロジェクトメンバー

プロジェクトリーダー：吉富友恭(環境教育研究センター・教授)／樋口利彦(環境教育研究センター・名誉教授)／原子栄一郎(環境教育研究センター・教授)／小柳知代(環境教育研究センター・准教授)／南道子(生活科学・教授)／正木賢一(美術・准教授)／橋村修(地域研究・准教授)／中西史(理科教育・講師)／鈴木享子(環境教育研究センター・専門研究員・非常勤講師)／神村佑(環境教育研究センター・共同研究員)